

生活支援コーディネーター ～ 耳より情報局 ～

平成 28 年度から活動している生活支援コーディネーター。

住民が持つ情報、地域の力、専門職のスキル、企業の力を生かして、住民主体で高齢者生活支援体制を構築する（コーディネートする）のが生活支援コーディネーターの役割です。そんな生活支援コーディネーターの活動情報を届ける「耳より情報局 第6号」です！

特集：高齢者のオンライン支援で「高齢者生活支援体制」が見えてきた？

新型コロナウイルス感染拡大により、会って話し、集ってふれあう、という交流が自粛や中止となり、高齢者にも大きな影響が出ています。

コロナ禍、「オンライン帰省」「SNS での交流」「QR コードで情報取得」「オンラインでワクチン接種予約」が行われる中、スマートフォン（以下、スマホ）等の操作が不慣れな高齢者からは「どうしたら良いの？」という声も多く聞かれました。



すいたの年輪ネットでは「オンラインが苦手な高齢者にとって大きな生活課題」と捉え、多様な団体が主体となった「オンライン講座」の開催を検討してきました。

●どのような内容？

生活支援コーディネーターは吹田市社協 CSW（以下、CSW）と連携して、高齢者の生活課題となったオンライン講座を福祉委員会と共に開催していくことを同委員会に周知しました。

例えば…



QR コードって何？どうやって読み取るの？



SNS（LINE）で写真を送ってみたい！孫とビデオ通話できたらなあ。



そもそもスマホって何が出来る？スマホ体験してみたい…



スマホは便利だけど注意すべきこともあります。ネットの危険性の周知も必要！

●多様な団体に企画を検討すると!?

- ・スマホで出来ることは沢山あるけど何を伝える？
- ・福祉委員は高齢者が多くスマホが苦手…。
- ・講師だけでは高齢者に伝えられる？
- ・高齢者への案内は福祉委員会ができるよ！

講座は福祉委員会、CSW、地域包括支援センター、生活支援コーディネーター等と一緒に企画しています。

「オンライン講座より、高齢者は〇〇で困っているのでは？」と別の課題を検討することも。



●各地域で「高齢者生活支援体制」が整備されてきました！

先程のように、オンライン講座は多様な団体と一緒に企画し、準備し、開催しています。また大学生がオンライン講座で活動するなど「多様な住民・団体」が「得意なこと」を「みんなで役割分担」しています。多様な団体で検討する「高齢者生活支援体制」が整備されてきました！



福祉委員会・CSW・生活支援コーディネーターと打ち合わせ



事前に福祉委員対象のスマホ講座を実施。



本番の講座に向けて、福祉委員会、CSW、地域包括支援センターと検討。



事前のスマホ講座で学んでいた福祉委員も、講座当日は高齢者の「スマホ先生」に。大学生も高齢者をサポートします。



今後も福祉委員会・地域包括支援センター・CSW・生活支援コーディネーターと地域課題について連携して取り組みましょう！

●オンライン講座の陰の主役!? ～大学生ボランティア誕生秘話～

昨年度から吹田市社協と同施設連絡会で新型コロナの影響でアルバイト収入が減った学生に、食材支援を取組んでいます（現在まで5回実施）。学生のアンケートからは「サークルやボランティア活動ができない」「入学した途端、オンライン授業中心で友達が出来にくい」等を把握しました。

生活支援コーディネーターはCSW、社協ボランティアコーディネーター、「ボランティア活動に興味がある」と回答した大学生と共に「オンライン学生交流会」を企画し開催しました。

同交流会では、社協ボランティアコーディネーターと連携し、高齢者へのオンライン講座や福祉委員会活動等でのボランティア活動を呼びかけました。また市内各大学にも社協ボランティアセンターからボランティア活動を呼びかけたところ、20名以上の学生が申し込み、オンライン講座等でボランティア活動をしています！



生活支援コーディネーター・CSW・社協ボランティアコーディネーターが多職種連携することで、学生と高齢者の交流が進んでいます！

令和3年11月発行



高齢者は学生との交流にイキイキ！ウキウキ！



生活支援コーディネーター
～耳より情報局～

編集・発行 社会福祉法人 吹田市社会福祉協議会 電話 (06) 6339-1254 担当：新宅